

修正型電気けいれん療法について

m-ECT (modified ElectroConvulsiveTherapy)

修正型電気けいれん療法

当院では難治性のうつ病や統合失調症などに対して、修正型電気けいれん療法(m-ECT)という専門療法を行っています。m-ECTとは、こめかみに数秒間電気を流すことで脳波にてんかんと同じ波形を生じさせ、様々な精神症状を改善させる治療法です。効果と安全性ともに優れた治療法ですが、麻酔科医による呼吸管理の下、麻酔薬や筋弛緩薬を適切に使用する必要があり、人員や設備を要するため、m-ECTを施行できる施設は限られています。

栃木県南部、群馬県南東部の両毛地域にお住いの患者さんで、電気けいれん療法を実施してみたいと考えている方は、一度ご相談ください。

当院における修正型電気けいれん療法

当院では、これまで延べ1500回以上の電気けいれん療法を施行してきました。当院の修正型電気けいれん療法では新型の治療機器「サイマトロン」を使用します。治療は手術室で行い、麻酔科医による呼吸循環管理を行うことで、高い安全性を確保しております。1回の治療は15分程度で、麻酔により患者さんが眠っている間に治療が行われます。筋弛緩薬と静脈麻酔薬を使用しますので、けいれんや不安や苦痛はありません。

現在は手術枠の都合もあり、3件/日の施行となっていますが、週3回と標準的な治療頻度で実施できています。1回だけの治療ではすぐに効果が出ませんので、1週間に2~3回、合計で8回前後行います。また、最近では1泊2日でのメンテナンスm-ECTも行っています。

電気けいれん療法の適応について

主に精神病症状(幻覚・妄想)、うつ状態に行われますが、パーキンソン病、慢性疼痛、強迫症状に対しても行われます。

このような方には特におすすめします

- ・精神的あるいは身体的な観点から迅速な治療効果が必要
- ・薬の効果がなかなかみられない
- ・薬の副作用が強く出るために治療が難しい
- ・以前に電気けいれん療法で効果がみられた

副作用について

m-ECT は安全性が高い治療ではありますが、副作用が全くないというわけではありません。時々出現する副作用として、頭痛や一時的な記憶障害がありますが、短時間で回復することがほとんどです。死亡事故が起こることはまれで、数万回に1回とされています。当院では、そのような事故はこれまで起こったことはありません。当院で時に問題となる副作用として、麻酔導入時や覚醒時に一時的に混乱する「せん妄」という症状があります。麻酔から完全に覚醒すれば問題なく回復するのですが、安全を確保するために治療前後には体を固定させていただく場合もございます。治療に対して不安が強かったり、てんかんの波形が長く続いたりした場合に生じやすい印象がありますが、治療回数を重ねることで消失し、体の固定が不要になることも多いです。

受診希望の方へ

電気けいれん療法を実施してみたい、詳しい説明を受けたい、とお考えの方は、まずは現在かかっている主治医の先生にご相談なさって、紹介状をもらって来ていただくようお願いいたします。初回受診時はご家族のみでも可能です。お電話にてご予約ください。

お問い合わせ先

佐野厚生総合病院 TEL：0283-22-5222 医療福祉支援室 精神科担当まで

医療関係者の方へ

紹介をお考えになる患者様がいらっしゃいましたら、[地域医療連携室](#)までお問い合わせください。

お問い合わせ先

佐野厚生総合病院 TEL：0283-22-5222 地域医療連携室 まで